


第96回 定時株主総会

FDK株式会社

2025年6月25日 



「招集ご通知」P.22～P.24

報告事項

～ 2024年度の振り返り ～

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

ご挨拶

監査報告

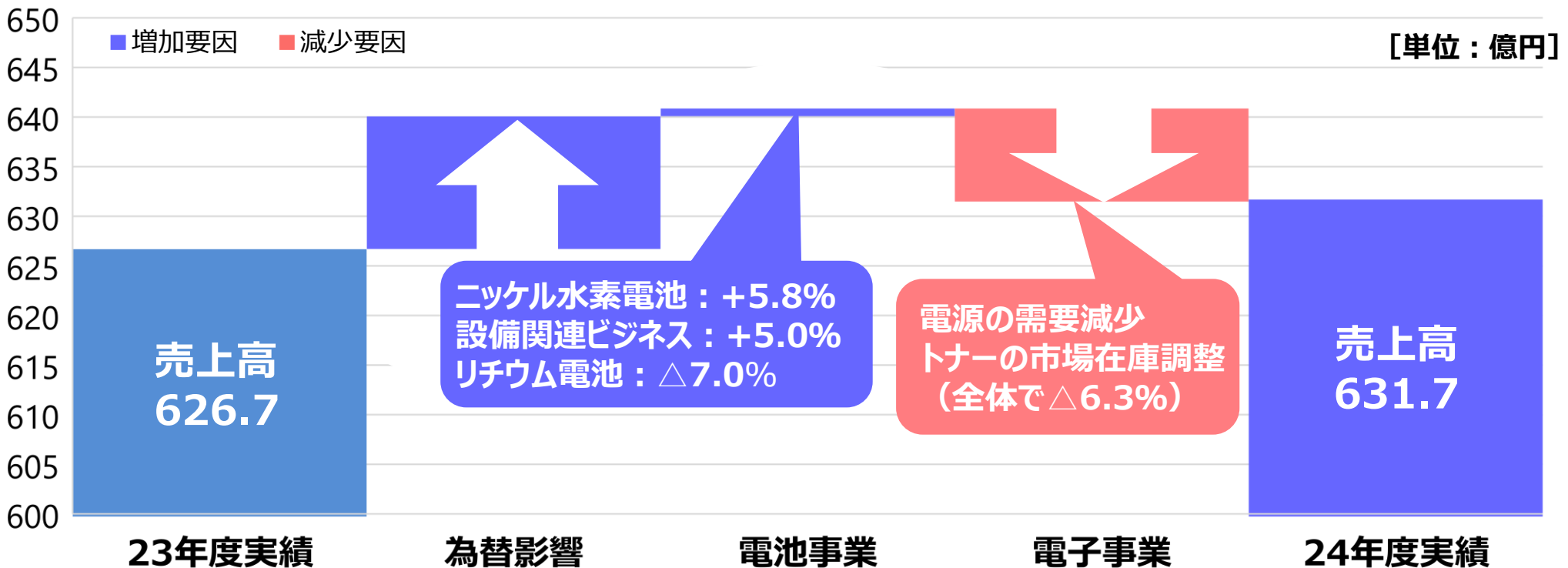
報告事項

決議事項

2024年度の振り返り ～市場情勢と売上動向～

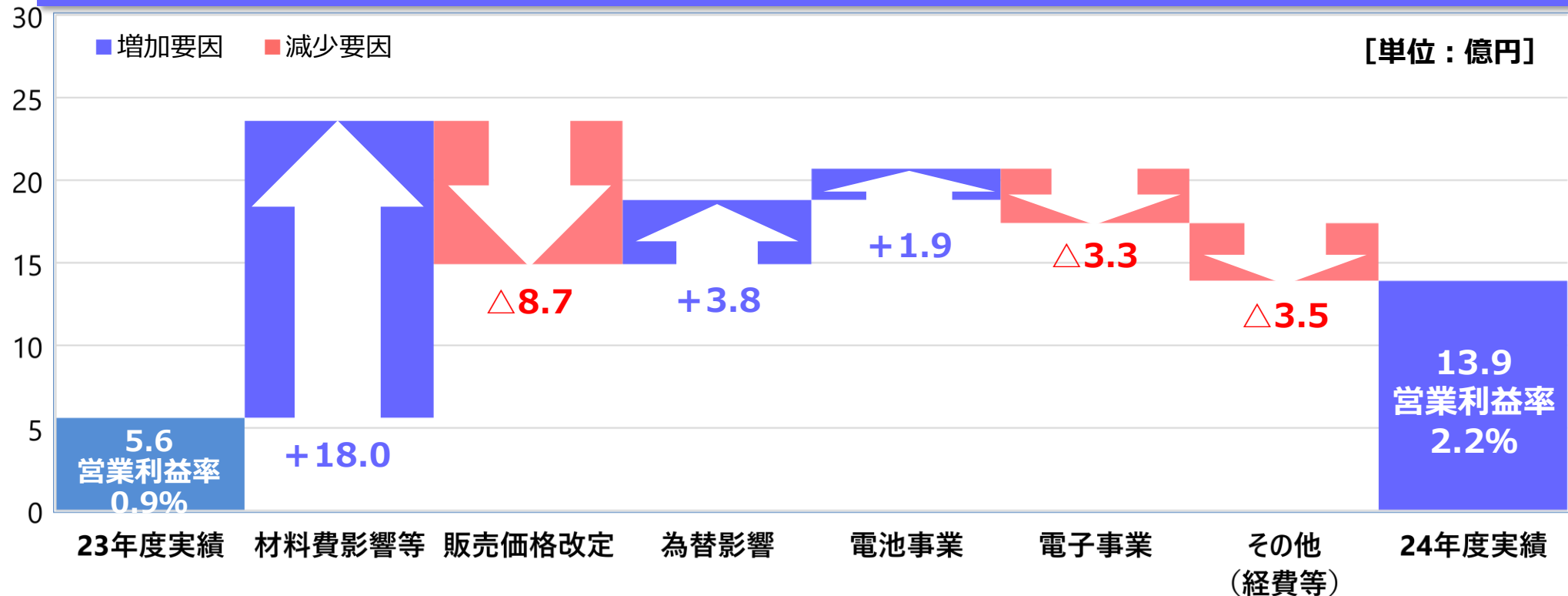
- ・市場情勢：ウクライナ・中東地域の地政学的不安定さの長期化、物価・人件費の上昇、欧米の高い金利水準継続、中国経済の懸念、米国政権交代による政策動向など先行き不透明な状況で推移
- ・売上動向：前期並で推移、為替影響を除くと1.3%の減収
 - 電池事業：ニッケル水素電池、設備関連ビジネスが増加（事業全体で0.2%増収※）
 - 電子事業：スイッチング電源およびトナーが減少（事業全体では6.3%減収※）

※為替影響を除く



2024年度の振り返り ～営業利益の動向～

- ・材料費変動等：材料相場下落に加え、技術VEにより材料費影響は大きく好転。相場下落による販売価格改定影響は、販売価格の一部維持により一定程度に抑制
 - 為替影響：3.8億円の好転影響（電子事業はマイナス影響・電池事業はプラス影響）
- ・通常ビジネス：4.9億円の減益
 - 電池事業：ニッケル水素電池や包頭FDK、設備関連ビジネスの売上増により増益
 - 電子事業：スイッチング電源の売上減少影響を経費削減等により一部抑制するも減益
 - その他：運送費高騰並びにTOB関連の一時費用が増加



2024年度の振り返り ～経営品質向上・構造改革等～

- 24年 6月：鳥取工場の太陽光発電システムの稼働開始
- 24年10月：FDKグループ統合報告書2024の発行
- 25年 3月：SILITECH TECHNOLOGY社による当社株式のTOB完了
- 25年 3月：「健康経営優良法人」の認定を2年連続で取得
～ 従業員の心身の健康づくりのサポートなどの取り組みが評価 ～
- 25年 4月：廈門FDKの太陽光発電システムの稼働開始



〔統合報告書2024発行〕

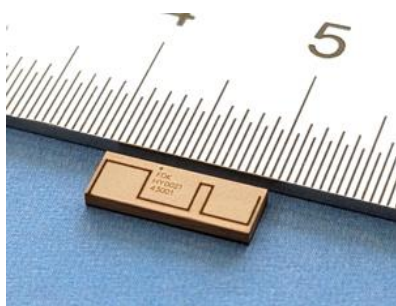
〔健康経営優良法人認定〕

〔鳥取工場太陽光発電システム稼働〕

〔廈門FDK太陽光発電システム稼働〕

2024年度の振り返り ～将来事業への布石～

- 24年 5月：世界最小の「Bluetooth® Low Energyモジュール」（HY0021）をサンプル出荷
- 24年 7月：吉本新喜劇 防災アルカリ乾電池を発売
- 24年 7月：車載アクセサリ市場向けニッケル水素電池（HR-AATEX）を開発
～マイナス40℃の環境下における放電時間約6倍を実現～
- 24年 9月：リチウム電池累計生産数15億個突破



[Bluetooth® Low Energyモジュール]

※Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。



[吉本新喜劇 防災アルカリ乾電池]



<用途例>



- ・eCall
- ・カーアラーム
- ・車載アクセサリ等

[ニッケル水素電池
HR-AATEX開発]



[リチウム電池累計生産15億個突破]

- 2025年3月21日にSILITECH社による当社株式のTOB完了
- 富士通グループから離脱しSILITECH社が当社の筆頭株主へ

TOBにより株主構成が変更

TOB前	議決権保有割合
富士通株式会社	58.82%



TOB後	議決権保有割合
SILITECH社	45.00%
富士通株式会社	17.59%

今後のSILITECH社とのシナジーにより当社の企業価値が向上すると判断し、当社取締役会はTOBに関して賛同の意向を表明

- 総 経 理 : 徐 幼 珍 (ジョ ヨウチェン)
- 設 立 : 1978年
- 上場区分 : 台湾証券取引所 (2004年上場)
※2020年にPSAグループに参加
- 売 上 高 : 約24億台湾ドル※ (約120億円) ※2024年度実績
- 従業員数 : 約1,700人 (台湾・ドイツ・マレーシア等に拠点所在)

主な取扱製品

Functional & Decorative Modules



HMI & Smart Surface

Communication & Life Style



✓ Functional & decorative Modules
自動車制御システム関連部品

✓ HMI & Smart Surface
ヒューマン・マシン・インターフェースと
入カデバイス製品

✓ Communication & Life Style
ウェアラブルデバイス部品

- 会 長 : 焦 佑衡 (チャオ ユーヘン)
- グループ概要 : 電子部品の製造・販売を手掛ける台湾所在の事業グループ
(4つの主要事業体で構成)
- 売 上 高 : 約32億USDドル※ (約4,600億円) ※2024年度実績
- 従業員数 : 約36,000人
- グループ所在 : 台湾、中国など世界に50以上の生産拠点を展開

主要な事業体



Passive Components &
Electronic Protection Components

✓ 受動部品および電子保護
部品



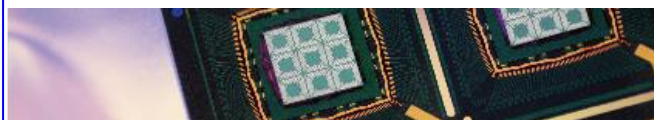
Printed Circuit Board(PCB)

✓ PCBプリント回路基板



Electronic Manufacturing
Service(EMS)

✓ EMS電子機器受託製造
✓ サービスソリューション



Memory IC Assembly and
Testing

✓ メモリICの組み立てとテスト

SILITECH社およびPSAグループとのシナジー

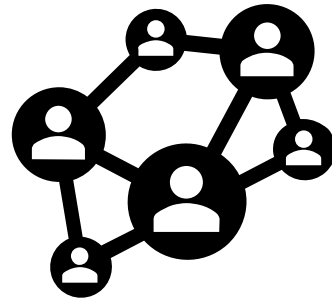
コストダウン

・SILITECH社およびPSAグループのグローバルリソースの活用によるコストダウン



販路拡大

・SILITECH社およびPSAグループ販売チャネルの活用



ノウハウ・ナレッジの共有

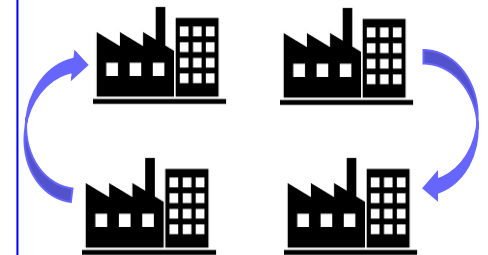
・PSAグループの法務・税務等のノウハウやナレッジを共有



拠点活用

・グループ拠点の相互有効活用

SILITECH × FDK



SILITECH社およびPSAグループと密接に連携し、
様々な領域でのシナジー発揮に期待

2025年度以降の取り組み

ご挨拶

監査報告

報告事項

決議事項

**FDKグループは、
Smart Energy Partnerとして、
先進技術を結集し、
お客様に電気エネルギーを
安心して効率的に活用いただき、
持続可能な社会の実現と発展に貢献します**

戦略Framework：あるべき姿と中期事業計画「R2」方針 **FDK**

あるべき姿

Visionが
達成された
と言える状態

誰に：人々の暮らしと社会を支える企業と個々のユーザーに

何を：クリーン且つ、安全な電気エネルギーを安定的に活用できる
オフリングをお届けする

(電池/エンジニアリング, 次世代電池, パワーマネジメントソリューション)

いつ：2029年

目標：売上 800億円 (うち新規ビジネス 30%)/営業利益率 7.5%

R2:23~25年度

1) 主力ビジネスの利益ある成長の加速

- ✓ 伸びる市場・付加価値の高い市場への注力
- ✓ 構造改革による事業規模の適正化

2) 新規ビジネスの始動と開拓

- ✓ 次世代電池ビジネスおよび、ソリューションビジネスの本格稼働
- ✓ 次々世代電池、ソリューションビジネスの要素開発

3) 認め合い・高め合う文化の醸成

- ✓ 各自が能力を発揮できる仕組みの構築
- ✓ ガバナンスを含む経営の質の向上

主力ビジネスの利益ある成長の加速①

■ ニッケル水素電池：新5本柱市場への拡販および差別化技術の開発促進

- ✓ 家電・車載・電源バッテリーバックアップ・輸送機器・アライアンス（含む水素貯蔵向け）への拡販
- ✓ 長寿命化・温度範囲拡大・環境負荷低減製品の開発、蓄電システム高機能化による差別化

■ リチウム電池：新製品のラインアップ拡大と次期高容量化モデルの開発

- ✓ メータ市場拡販に向けた高容量化モデル開発と医療・IoTビジネスへの拡販
- ✓ 17%容量向上した新製品CR17500EXの市場導入

■ アルカリ電池：高付加価値商品開発の推進による事業規模の拡大

- ✓ 柔軟な生産体制構築による事業基盤強化、環境負荷低減製品開発による商品価値向上



[ニッケル水素電池事業 製品]



[リチウム電池事業 製品]



[アルカリ電池事業 製品]



[包頭FDK 製品
水素吸蔵合金]

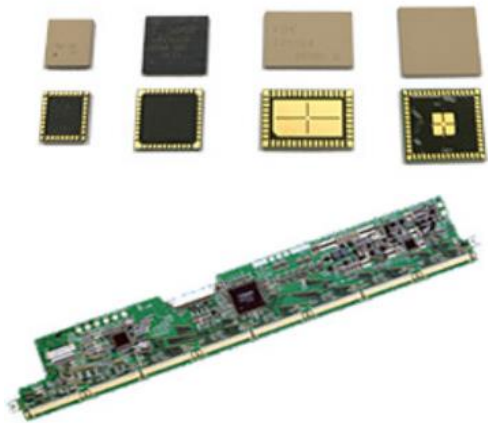
主力ビジネスの利益ある成長の加速②

■ 電子事業：PSAグループとの連携強化による事業価値向上

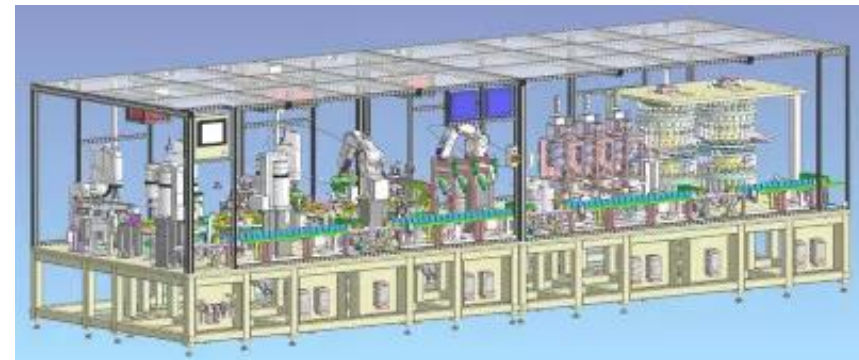
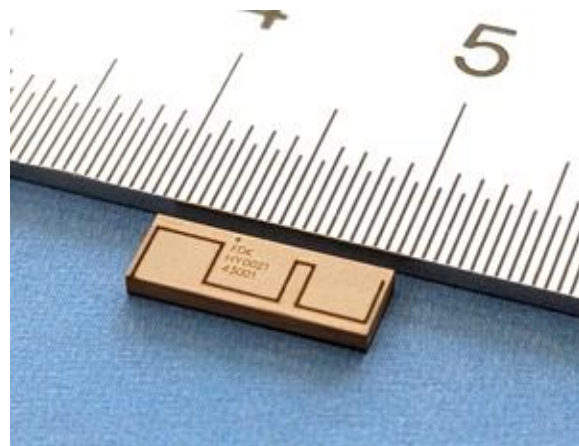
✓ PSAグループの販売チャネル活用、部材コストダウン、差別化製品の開発促進

■ エンジニアリング：新規市場への拡販強化および新技術の獲得

✓ マーケティング強化による新規顧客開拓の拡大、パートナー会社との連携強化による技術向上



[電子事業 製品（各種モジュール等）]



[FDKエンジニアリング 製品（自動化設備）]

新規ビジネスの始動と開拓

■ 全固体電池：生産体制構築および新規ビジネス開発

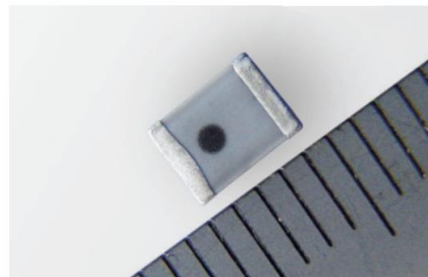
- ✓ 生産システムの構築、高耐候性製品の開発推進、市場優位性を捉えたビジネス開発

■ ニッケル亜鉛電池：ビジネスプランの確立および量産化プロセス構築

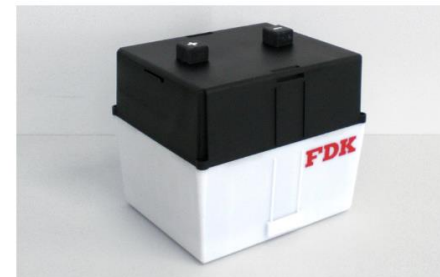
- ✓ 要素技術の開発加速および特定顧客向けのビジネスプランの検討加速

■ パワーマネジメントソリューション：高度化開発とビジネスモデルの検討

- ✓ 特定プロジェクトのブラッシュアップの継続（設計力、安全性能向上）
- ✓ パートナー・他企業との商談活発化による事業化検討、市場開拓



[SMD対応小型全固体電池]



[ニッケル亜鉛電池]

認め合い・高め合う文化の醸成

■ ガバナンス強化

- ✓ 富士通グループ離脱後の新たな株主構成におけるガバナンスの構築
- ✓ DX加速による企業価値の向上と情報開示の充実による認知度向上

■ 人的資本経営の継続的強化

- ✓ シニア社員の活躍推進に向けた制度の抜本改革
- ✓ 人材リソースの可視化による戦略的人材マネジメントの実現
- ✓ 失敗を恐れず、挑戦する文化の醸成（失敗を表彰する等の仕組みを構築）

■ 社会的課題への取組（サステナビリティ）

- ✓ 事業を通じて5つのマテリアリティに注力し、持続可能な社会実現の課題解決へ貢献



[当社が注力するSDGs]

- ✓ 当社が長年培ってきたニッケル水素電池の正極技術および製造技術、またアルカリ乾電池の亜鉛負極技術のシナジーによりニッケル亜鉛電池を開発

[当社ニッケル亜鉛電池の特徴]

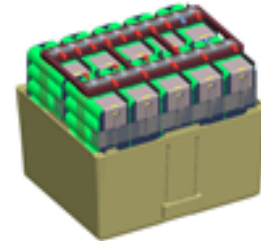
- ✓ 鉛蓄電池と比較して、重量エネルギー密度が約2倍
- ✓ 鉛蓄電池と比較して、充放電サイクルが約3倍
- ✓ 資源豊富な亜鉛を用い、鉛などの有害物質を不使用
- ✓ 水系電解液を用いているため、火災などのリスクが小さく安全性に優れている



[ニッケル亜鉛電池
ZR/4/3 FAUP]



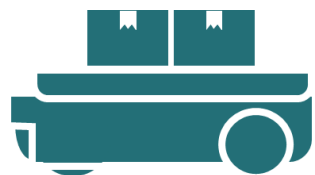
[組電池事例
(鉛蓄電池と同形状)]



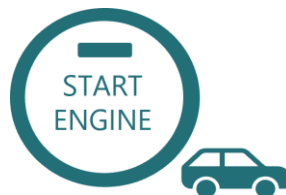
[ケース内イメージ図]

[ニッケル亜鉛電池のターゲット市場]

- ✓ 当社ニッケル亜鉛電池の優位性を活かし鉛蓄電池を使用している各ターゲット市場への参入を目指す



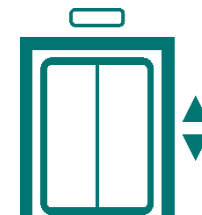
電動モビリティ (AGV)



エンジン始動用



サーバー・ストレージ機器



エレベーター機器



その他バックアップ機器

2025年度の取り組み (トピックス)～ニッケル亜鉛電池②～

- ✓ ターゲット市場参入に向けて連続充電評価やAGV (無人搬送車) に実装するなど各種の実証実験を実施中 (特定顧客へのサンプル出荷も拡大)



[当社高崎工場敷地内の連続充電評価試験]



[高崎工場AGV連続走行実証実験]



[エクシオグループ(株)様グリッドフリーソーラーカーポート]
※停電時のシステム制御用のバックアップ電源

実証実験を通じて製品特性および信頼性を高め、
量産化に向けた取り組みを推進

2025年度の業績予想について

■ 売上高

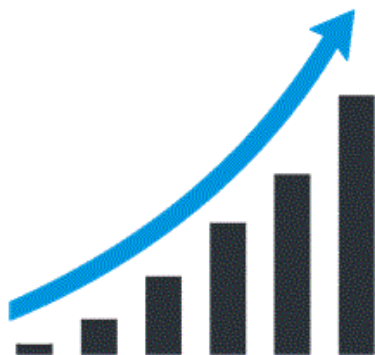
- ✓ 前期比△5.0%の売上減少を予想
為替変動や電子事業の各種モジュールでの一部機種生産終了の影響

■ 営業利益

- ✓ 売上高全体で減少も電池事業で付加価値の高い機種での売上増により増益
- ✓ 外的要因：前期に比べ原材料費は下落する見込みも販売価格調整や為替影響を見込む
- ✓ 内的要因：ニッケル水素電池の高付加価値モデルの売上増加、国内外のスマートメータ用途向けリチウム電池の需要増加および新規・深耕開拓、技術VEによるコスト削減、徹底的な経費削減

単位：億円	2024年度実績 (a)	2025年度予想 (b)	増減額 (b-a)	増減率 (%)
売上高	631.7	600.0	△31.7	△5.0%
営業利益	+13.9	+14.0	+0.0	+0.4%
(売上高比)	+2.2%	+2.3%	+0.1pt	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	+5.3	+6.0	+0.6	+11.9%

株主様への約束



従業員に対する責任



お客様の満足



and
(全てに
応える)

社会への貢献



FDK

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために